



日本小児病理研究会 会報57号

平成24年7月2日 (月)

1. ごあいさつ

総務幹事 中山雅弘 (大阪府立母子保健医療センター)

早いもので今年も、上半期が過ぎ、7月に入りました。4年前にも会報でご挨拶させていただきました。以下はその当時の文章の抜粋です。「ローカルな話題で恐縮ですが、大阪では、橋下知事の下で大改革？が進められています。一時は、救急医療や先天性代謝異常等の予算なども消滅かという大混乱でした。幸い、病理部門は、削減の対象にはなりませんでしたが、今後、生命に直結しないからと削減される懸念も感じられます。病理医の必要性の再確認なども必要なのかも知れません」。今回も、大阪都構想で、大騒動です。病院でも緊縮財政で圧迫され、必要な備品も購入が困難な状況です。皆さん方の地域ではいかがでしょうか？

本研究会の目的を設立当初の文書から拾ってみますと、小児医療に携わっておられる小児科医や小児外科医に対し、的確な病理組織診断を迅速に提供することによって患者様に対してより早く・的確な治療を行うために小児病理医ならびに小児病理に興味を持つ研究者が様々な最新情報を共有するとともに、互いに教育し合い研鑽を積むと記載されています。

数年前にも総務幹事を拝命しましたが、当時の問題点として、講習会・セミナーの開催やオートプシー・イメージングなどがありました。その後、日本病理学会での小児病理講習会の開催などが新たな試みとして定着し、剖検前に死後画像なども数多く行われるようになってきていると思います。

今回、小児病理研究会の今後のテーマとして、症例の集積・登録システムを提案します。小児がんの集積システムとしては、福島医大の北条先生・神奈川県立こども医療センターの田中先生などのご努力で臨床登録とは別に病理登録が小児腫瘍分類委員会で行われており、独自の成果を生み出しています。私は、更に非腫瘍性疾患についても登録・集積システムを構築することが有用と考えています。周知のごとく、剖検数は年々、低下の傾向にあります。又、画像医学の進歩により、手術症例や生検症例も限定あるいは減少の傾向も窺われます。このような状況でも病理データの重要性はむしろ増加していると考えます。本研究会目的でも述べたように臨床側への的確な情報を提供するためにも情報の共有は重要な課題であり、実現に向けて努力したいと思います。

第32回小児病理研究会は9月に大阪で開催されます。第9回小児病理セミナーおよび前日には小児腫瘍分類委員会があります。盛会のために多数の演題発表や御参加をお願いします。

2. 第32回小児病理研究会のお知らせ

開催日：2012年9月8日 (土) 9時～15時 (予定)
世話人：中山雅弘 (大阪府立母子保健総合医療センター 検査科)
場所：大阪市立総合医療センター さくらホール
参加費：3000円
主題：性分化異常・性腺腫瘍など
特別講演：島田憲次先生 (大阪府立母子保健総合医療センター 泌尿器科)
教育講演：(未定)
電力事情の不安定なこともありますので、当日はクールビズでご参加ください。

○日本病理学会から専門医資格更新時の生涯学習単位 (参加5単位、筆頭発表2単位)として、認められています。

〔演題申し込み〕
演題名 (主題か一般演題かを明記)、出題者、所属名、抄録 (600字以内) を下記のメールアドレスにお送りください。
郵送にてお申し込みの場合は抄録のCD-Rも添えて下記住所宛にお送りください。
発表形式は：Microsoft Office Power Point 2007 (Windows)を予定しております。Macをご利用の方はその旨を申し込み時にお知らせください。
締め切り 2012年 8月 6日 必着
抄録送付先：
〒594-1101 和泉市室堂町840
大阪府立母子保健総合医療センター検査科 松岡圭子
TEL 0725-56-1220, FAX 0725-56-1858
E. mail: hamanak@mch.pref.osaka.jp

3. 第9回小児病理セミナーのお知らせ

主催：日本小児病理研究会
テーマ：発育期神経疾患の臨床と病理
講師：
伊東恭子先生（京都府立医科大学 分子病態病理学）
加藤光広先生（山形大学 小児科学）
島田厚良先生（愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所 病理学部）
日時：2012年9月8日（土） 16時～18時（予定）
場所：大阪市立総合医療センター さくらホール
対象：病理医 小児科医 脳外科医 研修医ほか
参加費：2000円（ハンドアウト込み）（小児病理研究会参加者は1000円）
参加申し込み・お問い合わせ
〒594-1101 和泉市室堂町840
大阪府立母子保健総合医療センター検査科
中山雅弘、竹内真、松岡圭子
TEL 0725-56-1220, FAX 0725-56-1858
E. mail: hamanak@mch.pref.osaka.jp
E. mail: mna@mch.pref.osaka.jp

4. 小児腫瘍症例検討会のお知らせ

主催：日本病理学会小児腫瘍組織分類委員会
日時：2012年9月7日（金） 13時30分～18時（予定）
場所：大阪市立総合医療センター さくらホール
1) 2012年度小児腫瘍症例検討会（例年約25症例）
2) 教育講演：小児の呼吸器系腫瘍
神奈川県立こども医療センター
病理診断科 田中水緒先生
3) 参加費：1,000円
参加お申し込み・お問い合わせ先：
〒232-8555 横浜市南区六ッ川2-138-4
神奈川県立こども医療センター 病理診断科
田中祐吉
電話：045-711-2351
E-mail: ytanaka@kcmc.jp
病理専門医資格の更新用点数が認められます（参加5単位、筆頭発表2単位）。

5. 地区集会のお知らせ

第129回
関東東海地区小児病理カンファレンス
2012年10月12日（金）午後5時30分から
於；
国立成育医療研究センター
世話人；
国立成育医療研究センター病理診断部
中澤温子先生

第68回
関西小児病理研究会
2012年12月22日（金）午後1時30分から
於；
大阪市立総合医療センター大会議室
世話人；
大阪市立総合医療センター
井上 健先生

6. 会費納入のお願い

本会規約により、本会会費は年間5,000円となっております。平成24年度分会費を右記口座にお振り込み願います。会費未納の方には、振り込み用紙を同封しておりますので、これをご利用いただくか、下記口座へお振り込みいただきたく存じます。ご不明の点があれば事務局 松岡（メール matsuoka-k@ncchd.go.jp）までご連絡ください。（会費納入済みの方には振り込み用紙は同封していません）

ゆうちょ銀行
【記号】 1 0 0 9 0
【口座番号】 8 6 6 1 2 8 4 1
ニホンショウニビョウリケンキュウカイ
他の金融機関からお振り込みの際
【店名】〇〇八【店番】008
【預金種目】普通預金
【口座番号】8661284

7. 事務局より

◇第101回日本病理学会では「胎盤・小児」というセッションが設けられ多くの一般会員を集めて有意義な発表、活発なディスカッションが行われました◇コンパニオンミーティング「小児腎疾患の病理」も19時40分開始という時間帯にもかかわらず多くの参加者を集めて行うことができました◇次回も興味深い企画を行いたいと思います◇ご意見ご要望を事務局までお寄せ下さい

日本小児病理研究会会報57号
平成24年7月2日発行
編集・発行 松岡健太郎
日本小児病理研究会事務局
<http://jspp.info/>
〒157-8535
東京都世田谷区大蔵2-10-1
国立成育医療研究センター
病理診断部病理診断科
TEL (03)3416-0181
FAX (03)5727-2879
E-mail matsuoka-k@ncchd.go.jp